

◆日本共産党は、大軍拡・大増税許さず、命と暮らし守る政治実現に全力を尽くします

休日当番病・医院

6月11日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 同樹会苦小牧病院 新中野町 36-1221
- ◆歯科 土上歯科医院 王子町 34-3883

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になつてもお知らせすることはできません。ご利用されるときには、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談



6月22日(木)

内田 信也弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

親身な相談で定評

しんぶん赤旗読者のための

日本共産党

民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ
苦小牧市議会ホームページ
eメールアドレス
<http://www.jcp.or.jp>
<http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>
commun@rose.ocn.ne.jp

憲法生かす会宣伝

岸田政権の悪法強行成立に怒り

反撃能力持てば憲法9条ないがしろにされる

ため、コロナ対策費や東日本大震災の復興費用も充てようとしています。物価高騰で暮らしが大変になつてているのに、これでいいのか。戦争の準備でなく、戦争を避けるためにはどうするべきかを考えるのが政治の責任です」と訴えました。

勤医協苦小牧病院の宮崎有広名誉院長は、「沖縄にミサイルが配備されようとしています。政府は反撃能力（敵基地攻撃能力）をもてば抑止力が高まるとしていますが、日本が攻められてもいらないのに、逆に脅威を与えることになります。憲法9条がないが

ります。政府は外交で平和を求めるべきなります。憲法9条生かしろにするもので、9条生かした外交で平和を求めるべきです」と力を込めました。

苦小牧地区労連の斎藤秀夫

事務局長は、「自民党は戦争につなぐ」と書いた横断幕などを掲げ、岸田政権の悪法成立の強行に怒りの声をあげました。

美光九条の会の能勢公事務局長は、岸田自公政権は、北朝鮮のミサイル発射や虚構の台湾有事に乗じて大軍拡・大増税の軍事優先の「戦争する国」への道を進めていると告発。「軍事費に43兆円かける



ではありません」と強調しました。

道行く車などからは、賛同する手が振られました。

タンデイングは、2018年66回を合わせ124回、参加者はのべ1700人を超えた。

電気料の値上げは撤回すべし

畠山氏ら北電要請

年金吹き飛び命にかかるる



北電本社に値上げ撤回の要請する畠山さんら



政府は電力大手7社の電気料金（家庭向け規制料金）の

大幅値上げを承認し、6月から北海道電力の値上げ幅は、平均で23・22%です。大幅値

上げを招いたのは、泊原発稼働と輸入化石燃料に依存する北電の経営体質にあります。日本共産党は、値上げの

日本共産党的畠山和也元衆院議員や札幌市議らは5月23

日、北電本社を訪れ、値上げを撤回し、原発再稼働と輸入化石燃料依存を改め再生可能エネルギーを軸に据えることなどを申し入れました。

畠山氏らは、値上げに対し報酬上の措置がない医療機関や介護事業所、搾乳ロボットを動かし続ける酪農家などの「これ以上耐えられない」という実態をのべ、「道民生活の苦しさを正面から受けとめてほしい」と訴えました。

応対した北電側からは、「申し訳ありません」と繰り返し、「泊3号機再稼働後、適切な水準に値下げする」と回答。

これに対し畠山氏らは「電気料金を人質にとつて、再稼働を認めろと言うことはやめてほしい」と抗議しました。

池田由美札幌市議は、自由料金のオール電化の市営住宅入居者（2団地・305世帯）の「年金が電気料金で吹き飛んでしまう」などの窮状を伝えて軽減策を求めました。



電気料金値上げ中止を訴える共産党市議団



マイナカード強制になる
健康保険証の
廃止 撤回を
日本共産党

マサニカード強制になる

